

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 5月 1日 更新

事務事業名		児童館運営事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	2	福祉の健全		所属部	こども部	課長名	小畑 英之
	施策	5	こども・子育て支援の充実		所属課	こども未来課	担当者名	仁田 真由美
	業務分野	19	地域における子育て支援		所属班	こども支援班	(内線)	1627
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市児童館条例、合志市児童館条例施行規則	
	一般	3	2	4	10588			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	児童の健全な遊びの提供、集团的・個人的指導、児童館母親クラブの育成などの児童館事業(教室、イベント等)を実施している。人件費においては、市直営児童館(東、泉ヶ丘市民センター)に5名の児童厚生員を任用している。 本市の児童館は、児童福祉法第40条に規定する児童厚生施設の一つとして昭和61年4月に東児童館が開館し、続いて平成9年12月に泉ヶ丘市民センター児童館が、平成14年6月に西児童館が開館した。 なお、西児童館はふれあい館の一部に属し、運営については、市社会福祉協議会に事業運営を委託している。 現在では、子どもを取り巻く環境の悪化による子どもの遊べる場の確保及び親同士の交流を深める場として児童館の更なる推進を図っていくことが必要としている。
【業務の流れ】	○直営館(東児童館、泉ヶ丘市民センター児童館) ①日々の施設管理、安全管理 ②来館児童や親子への健全な遊び、交流 機会の提供(親子教室、相談活動、自然体験活動、非難・消火訓練、児童館まつりなどの行事開催) ○委託館(西児童館※ふれあい館内) ①事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約伺い ⑤支出負担 行為 ⑥実績報告書・請求書受付 及び審査 ⑦支出命令
【主な予算費目】	報酬、報償費、費用弁償、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費、負担金補助及び補助金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

東児童館、泉ヶ丘市民センター児童館、西児童館の児童館事業により、児童の健全育成、集团的指導等を行った。また、各児童館の母親クラブ地域活動の育成、支援を行った。
(令和6年度 R7.3月末現在来館者数：東児童館 2,288人、泉ヶ丘市民センター児童館 13,058人、西児童館 11,714人)

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

児童館事業により、児童の健全育成や集团的指導を行う。また、児童館を中心に活動している母親クラブに対し活動支援を行う。

③予算の主な増減の理由

東児童館LED照明改修工事に伴う工事請負費の増

成果指標

ア 児童館の利用者数

イ 児童館数

(単位)

人

館

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
利用者数	人	20,384	26,360	44,000	29,142	44,000	44,000	44,000	0
児童館数	館	3	3	3	3	3	3	3	0
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	100						
	繰入金	千円					698		
(A) 事業費計	千円	17,610	17,847	21,533	22,724	50,440	23,044	23,304	23,131

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

3館とも地域に根ざした様々な活動を取り組んでいる。地域的には住宅密集地や過疎地等の環境の違いがあるが、それぞれ工夫を凝らした運営を展開しており成果はでていると考える。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)